（別紙様式３）

　　　年　　月　　日

　　埼玉大学長　殿

動物実験報告書

|  |
| --- |
| 動物実験責任者 |
| 所　属 |  |
| 職　名 |  |
| 氏　名 |  |

国立大学法人埼玉大学動物実験規則第１６条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| １．課題名 | 承認番号（ ） |
| ２．実験の実施状況・結果等※１ | [ ] [ ] [ ]  | 計画どおり実施して終了した。中止した（　　年　　月　　日）一部変更して実施して終了した。 |
| 実施状況・変更内容・結果の概要等 |
|  |
| ３．実験動物※２ | 使用動物について |
| [ ] [ ] [ ]  | 全て処分した。その他の事由により処分していない。継続研究（承認番号： ）のために一部または全てを処分していない。 |
| 使用動物数※３

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|[ ]  マウス | (匹数： |  | うち生存数：　　　　　　　) |
|[ ]  ラット | (匹数： |  | うち生存数：　　　　　　　) |
|[ ]  その他 | (動物種名： | 　　　　　) |
|  |  | (匹数： |  | うち生存数：　　　　　　　) |

 |
| 備考 |
|  |
| ４．成果※４ |  |
| ５．特記事項 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 部局等の長の確認 | 年　月　日 |

※所属する部局等の長の確認を受け、そのことが分かる資料を添付すること。

※１ 該当項目にマークし、その概要を簡潔に記載。一部変更して実施した場合は変更内容を併せて記載。中止した場合はその理由を記載。

※２ 使用動物数は、実験に供した動物数のみを記載する。「その他の事由により処分していない」場合は備考に理由を記載。

※３ 当該年度における購入動物、自家生産動物、あるいは前年度からの継続飼養保管動物などを含む。

※４ 得られた業績について記載すること。

（例： 雑誌論文、図書、工業所有権などについて、著者名、論文標題、雑誌名、巻・号、発行年、頁、出版社などを記載すること。 必要に応じて別紙に記載する。)